

## 1 教育費予算の概要

項	年 度	令 和 4 年 度			令 和 5 年 度		
		当初予算	対前年比	構成比	当初予算	対前年比	構成比
		千円	%	%	千円	%	%
1	教 育 総 務 費	1,017,355	99.6	8.6	1,109,896	109.1	8.7
2	小 学 校 費	3,676,682	101.8	31.2	4,383,441	119.2	34.4
3	中 学 校 費	2,271,411	169.5	19.3	2,429,583	107.0	19.1
4	幼 稚 園 費	525,099	92.5	4.5	451,899	86.1	3.6
5	社 会 教 育 費	1,659,493	100.5	14.1	1,661,152	100.1	13.0
6	保 健 体 育 費	2,647,732	100.8	22.4	2,705,830	102.2	21.2
	合 計 A	11,797,772	109.1	100.0	12,741,801	108.0	100.0
	一 般 会 計 総 額 B	95,180,000	107.0		94,440,000	99.2	
	一般会計に占める割合 A/B	12.4%			13.5%		

## 2 教育費予算の推移

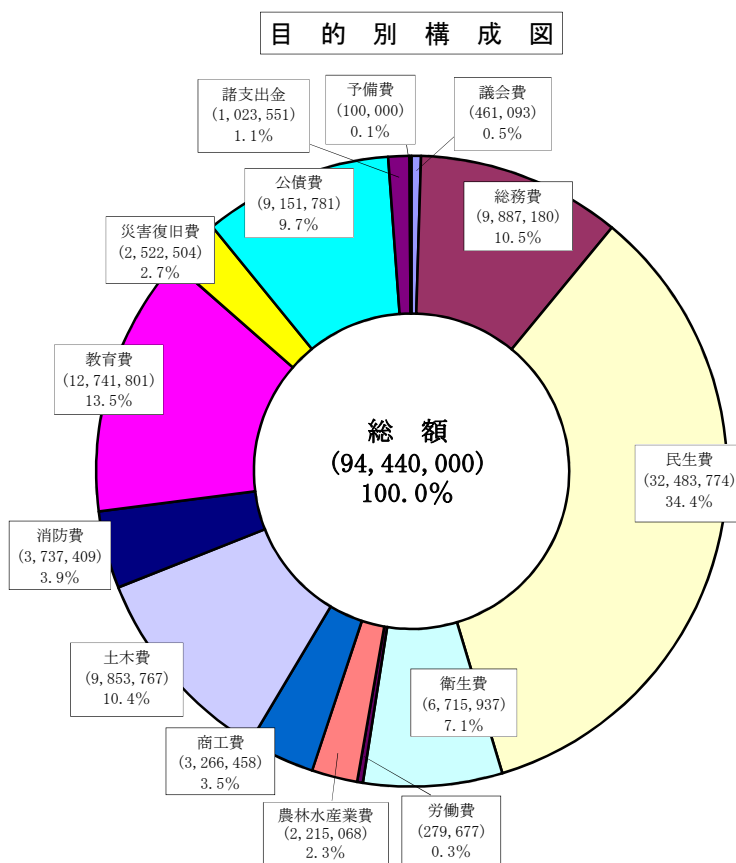
(単位：千円)

年 度	一般会計	教育費	構成比 (%)	年 度	一般会計	教育費	構成比 (%)
昭和49年	6,065,837	1,679,839	27.7	平成11年	40,588,555	4,381,232	10.8
昭和50年	6,007,736	946,693	15.8	平成12年	40,359,379	5,206,772	12.0
昭和51年	7,131,811	1,460,846	20.5	平成13年	39,392,286	3,992,110	10.1
昭和52年	8,601,124	1,291,595	15.0	平成14年	37,645,299	3,836,818	10.2
昭和53年	10,774,584	2,074,677	19.3	平成15年	37,466,365	3,757,998	10.0
昭和54年	13,185,250	2,950,264	22.4	平成16年	49,584,883	4,395,408	8.9
昭和55年	15,215,872	3,131,906	20.6	平成17年	61,983,583	5,890,924	9.5
昭和56年	16,330,748	3,610,433	22.1	平成18年	63,163,000	6,755,094	10.7
昭和57年	15,602,230	2,310,498	14.8	平成19年	68,620,662	8,252,021	12.0
昭和58年	15,675,721	2,394,177	15.3	平成20年	64,367,338	6,893,556	10.7
昭和59年	18,118,457	4,055,384	22.4	平成21年	71,486,206	8,076,865	11.3
昭和60年	19,011,297	2,649,811	13.9	平成22年	70,275,825	7,044,742	10.0
昭和61年	22,013,545	2,344,131	10.6	平成23年	70,639,215	5,662,260	8.0
昭和62年	23,606,686	3,087,584	13.1	平成24年	69,840,101	5,972,474	8.6
昭和63年	22,070,264	3,896,493	17.7	平成25年	73,565,640	5,699,351	7.7
平成元年	24,833,757	4,332,350	17.4	平成26年	76,459,954	7,195,953	9.4
平成2年	27,703,146	5,200,448	18.7	平成27年	77,540,122	9,060,877	11.7
平成3年	34,798,476	5,461,749	15.6	平成28年	73,173,368	9,036,529	12.3
平成4年	35,647,185	4,625,026	12.9	平成29年	72,104,842	8,978,135	12.5
平成5年	36,888,300	5,513,983	14.9	平成30年	76,020,284	6,954,770	9.1
平成6年	34,008,588	2,979,794	8.8	令和元年	77,514,973	8,552,558	11.0
平成7年	35,481,736	3,638,260	10.3	令和2年	107,295,043	12,445,661	11.6
平成8年	39,546,514	4,044,631	10.2	令和3年	95,300,734	10,013,578	10.5
平成9年	40,148,336	6,820,936	17.0	令和4年	95,180,000	11,797,772	12.4
平成10年	35,850,344	3,397,372	9.5	令和5年	94,440,000	12,741,801	13.5

※令和3年度までは決算額を、令和4・5年度は4月1日時点の予算額を記載している。

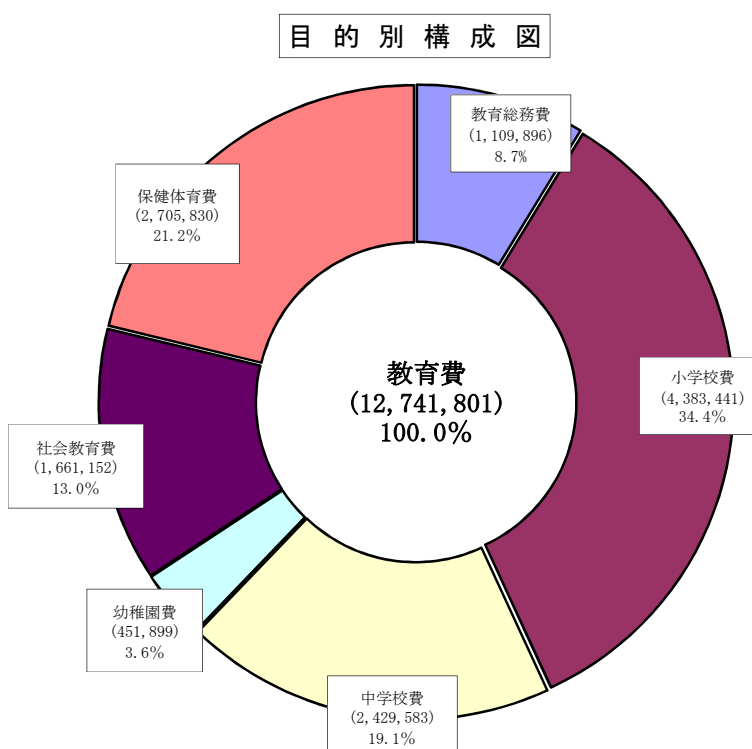
### 3 令和5年度一般会計歳出予算（令和5年4月1日現在）

目的別構成	(単位:千円)	
議会費	461,093	0.5%
総務費	9,887,180	10.5%
民生費	32,483,774	34.4%
衛生費	6,715,937	7.1%
労働費	279,677	0.3%
農林水産業費	2,215,068	2.3%
商工費	3,266,458	3.5%
土木費	9,853,767	10.4%
消防費	3,737,409	3.9%
教育費	12,741,801	13.5%
災害復旧費	2,522,504	2.7%
公債費	9,151,781	9.7%
諸支出金	1,023,551	1.1%
予備費	100,000	0.1%
総額	94,440,000	100.0%



### 4 令和5年度教育費歳出予算（令和5年4月1日現在）

目的別構成	(単位:千円)	
教育総務費	1,109,896	8.7%
小学校費	4,383,441	34.4%
中学校費	2,429,583	19.1%
幼稚園費	451,899	3.6%
社会教育費	1,661,152	13.0%
保健体育費	2,705,830	21.2%
合計	12,741,801	100.0%



## 5 主要事業の概要

### 3 【人づくり】 誰もが夢を持って成長し活躍できるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
<b>2 乳幼児期における教育・保育の充実</b>			
① 幼児教育・保育の充実 <b>拡</b> ○キャリアアップ研修の充実 <b>拡</b> ○未来を担うこどもの育ちサポート ○魅力ある保育環境づくりの充実	32,547	乳幼児期からの教育・保育の質を高めるため、広島大学と連携して、保育施設等を訪問し、教育・保育内容の助言を行うとともに、教育・保育環境の改善や研修のさらなる充実を図ります。	こども未来部 学校教育部
<b>3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践</b>			
① 学校運営の支援と教育内容の充実 <b>拡</b> ○ICTの活用による学びの充実 <b>拡</b> ○学校支援センターによる支援 <b>拡</b> ○小・中学校の施設整備等	5,520,481	ICTを効果的に活用し、遠隔教育の実施等学びの充実に資する学習機会を創出するとともに、学校支援センターによる支援を促進します。また、小中学校の長寿命化改良工事等を行います。	学校教育部
② 特別なニーズに対応した教育の充実 ○特別支援教育の推進 <b>拡</b> ○小・中学校教育支援者の配置 <b>拡</b> ○外国につながる児童生徒への教育の推進	621,341	学校教育支援員や教育補助員等を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図るとともに、外国につながる児童生徒へのきめ細かな教育を推進します。	学校教育部
③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり <b>拡</b> ○生徒指導の推進 <b>新</b> ○青少年の地域活動・交流の推進 ○地域学校協働活動の推進	85,076	校内特別支援教室やスクールソーシャルワーカーを拡充し、不登校等の解決に取り組みます。また、地域学校協働活動推進員の配置や青少年の地域活動への参画により、地域と学校の協働を推進します。	学校教育部 生涯学習部
<b>4 新たな価値を創造する人材の育成</b>			
① 理科系教育分野等の教育内容の充実 ○児童生徒の科学の芽の育成	6,346	大学や企業等の協力を得て、科学技術等に関する体験的な学習を通じて興味や関心を醸成することで、理科系の学習が好きな児童生徒の裾野の拡大に取り組みます。	学校教育部
② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実 ○文化芸術体験の振興 <b>新</b> ○理系・イノベーション講座の実施	4,584	美術館やどこでも博物館等の体験を通じて、文化芸術に直接触れる機会を提供するとともに、理系分野への興味・関心や探求心を育てよう、大学の知見を活用した講座を実施し、学びの充実を図ります。	生涯学習部
<b>5 知的資源と国際性を活かした人づくり</b>			
① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成 ○未来創造及びキャリアの形成 ○大学や試験研究機関と連携した学びの充実	2,814	大学等と連携し、市民の豊かな学びにつながる講座を実施します。また、留学生等と連携し、児童のグローバルマインドの涵養を図るとともに、職場体験を通じて生徒が主体的に進路を選択する力を育てます。	学校教育部 生活環境部 生涯学習部
<b>6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり</b>			
① 生涯を通じて地域を学び、活躍できる環境の整備 <b>新</b> ○集合型オンライン講座の実施 ○特色ある図書館づくり	630,521	地域の特徴に応じた学びを推進するため、黒瀬地区においてオンラインと対面で学ぶハイブリッド型の講座を実施します。また、学生を対象としたワークショップを開催し、図書館の特色化を図ります。	生涯学習部
② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承 <b>拡</b> ○学芸業務の充実 <b>新</b> ○登録有形文化財等の活用 <b>新</b> ○国重要文化財の展示	632,666	長期的・継続的な美術館運営を推進していくため、専門的な学芸業務を委託します。また、郷土愛の醸成のため、文化財を活用したイベントや重要文化財の展示、東広島市史の編さんを進めます。	生涯学習部
③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成 <b>拡</b> ○地域でのスポーツ活動の普及推進 <b>新</b> ○スポーツ施設の聖地化・特徴化の推進	286,831	ウォーキング等により地域でのスポーツ活動の裾野を広げ、トップアスリートによる教室等でスポーツの魅力づくりに取り組みます。また、施設の聖地化・特徴化に向け、競技種目毎の施設の充実を図ります。	生涯学習部